

2019（令和元）年度

手話通訳者養成担当講師ブロック研修会 カリキュラム

【北海道ブロック】10h

日	時間	内容	講師	会場
8月3日（土）	11:15～ 12:00～	受付 オリエンテーション		札幌市視 聴覚障が い者情報 センター 大会議室
	12:15～15:15 (3時間) ※休憩含む	1. 【合同研修】講義＋演習 「手話言語を第二言語として 教えるための心構え・基本知識と技術」	大杉 豊氏 (筑波技術大学障害 者高等教育研究支援 センター教授 大学院情報アクセシ ビリティ専攻 手話教育コース長)	
	15:30～17:30 (2時間)	2. 【合同研修】講義 「ろう者を取り巻く情報・コミュニ ケーションに関する情勢・展望 ～あるべき手話通訳制度に向かって～」	小椋 武夫氏 (全日本ろうあ 連盟 理事)	
8月4日（日）	9:00～10:00 (1時間)	3. 全体討議「～アンケートから～」※1		札幌市視 聴覚障が い者情報 センター 研修室
	10:10～15:00 (4時間) ※昼休み・休憩 含む	4. 実技研修「事例検討」 (1) 講義「事例検討とは」※2 事例：「見て見て」 * 全国手話通訳問題研究会発行の 『手話通訳問題研究 101号』32～33p もし くは『マンガで読む手話通訳事例集』9～11p に掲載されています (2) 事例検討1 ※3 事例：『手話通訳Ⅱ』40～41p 第17講座「小学校の広報委員会」 (3) 事例検討2 (4) 質疑応答 まとめ	武居 みさ氏 前田 真紀氏 (全国手話研修 センター講師)	
	15:00～	修了証書授与・アンケート回収		

※1～※3 アンケートや事例検討の課題について、事前に取り組んでいただいた前提で研修を進めます。別紙「自宅学習課題（提出用）」(A4 2 ページ)に、可能な範囲で取り組んでください。研修日の10日前までに研修センターへメール添付もしくはFAXでお送りください。

※1 日目は、手話奉仕員・手話通訳者の合同研修です。

※都合により、時間・カリキュラムに変更が生じる場合があります。